

1 2 3

文教大学附属小学校
算数だより
1月号
算数科 大塚 隆夫

明けましておめでとうございます。 今年もどうぞよろしくお願いたします。



いよいよ新しい年が始まりました。算数科も3学期、1年間のまとめです。新しい学年に向けて、ますますたくさん考えて、表現できる学期にしていって欲しいと思います。

算数新聞も生活の中から見つけた数字をテーマとして、今年も皆さんが楽しみながら読めるように新聞を作っていきますので今年もどうぞよろしくお願いたします。



「1年間のめあて」は続けていくことが大切です。

江戸時代の終わりころに活躍した教育者、吉田松陰（よしだしょういん）の言葉の中にこんな言葉があります。『一日に一文字を覚えていけば1年間で360文字を覚えられる。しかし、一晩に1時間の勉強をやらないでいると、100歳の間には36000時間を無駄にしてしまう。』という意味です。毎日続けていくことで得られるものの大きさ、毎日の小さな時間の積み重ねの大切さを吉田松陰は知っていたのでしょね。

皆さんは1年の初めにクラスでも目標を立てると思います。目標はこの1年間、365日ずっと続けられるものをおすすめします。自分にも続けられる目標を簡単すぎず、難しすぎないものを立てて、できるだけやってみましょう。お家でも家族と一緒に目標を話し合い、紙に書いておくといいですよ。

1日1字を記さば1年にして360字を得、

1夜1時をおこたらば、100才の間36000時を失う。



よしだ しょういん
吉田松陰

答え『十二分にご縁がありますように。』

「1 2 3」では6年生の受験を応援します！



6年生たちの中学校入試が始まります。1月下旬には文教大学附属中学校の推薦試験が行われ、2月1日には東京都内での入試が始まります。

6年生が入試まで勉強できる時間は限られてきましたね。ですがここから皆さんの力はまだ伸びます。

今まで学習したことの中で学び足りないこと、もう一步理解を深めたいことを落ち着いて学習しましょう。新しい内容ではなく、今まで学習したことです。

分かっているつもりでも、あれ？というような問題がまだあります。時間を計って、どのくらいの時間で取り組めるのか確認します。

行きづまる部分では、覚えそびれていた公式の利用や何か足りないものがあるはずですが、丁寧に理解をしましょう。

第一志望の中学校の過去問がまだ終わってなければそれをしっかりとやることを優先しましょう。**もう少し！頑張れ受験生！！**



寒くて乾く冬を、数字でコントロールしましょう。

朝、外の気温が0℃だったり、空気が乾燥して湿度が30%くらいだったりする日が続きます。風邪をひかないためにも暑さ寒さに気付いて「大体このくらいの寒さかな？」と思って服を1枚多く着たり、乾燥に気付いて部屋の加湿をしたりしましょう。

生活で使う数字に注目し
自分なりにちょうせつしよう。

冬の快適な温度は
18度～20度、
湿度は50%くらい。



初もうでのおさい銭にこだわってみよう。

初もうでは行きましたか？お参りをした時におさい銭をあげますよね。よく「5円」を入れるとご縁があるなんていいですが、他にもいろいろあるみたいですよ。

逆に、10円などは遠縁（とおえん）といってさけたほうがいい、なんていわれていますね。ちなみに、太田先生は**17円をおさい銭**としてあげたようです。その意味は・・・？

- 5円（ご縁）
- 11円（いい円）
- 20円（二重【にじゅう】に縁）
- 25円（二重【にじゅう】にご縁）
- 41円（始終【しじゅう】いい縁）
- 45円（始終【しじゅう】ご縁）



答えは左のページ